

第1部 結果の解説

Part1 Summary of the Results

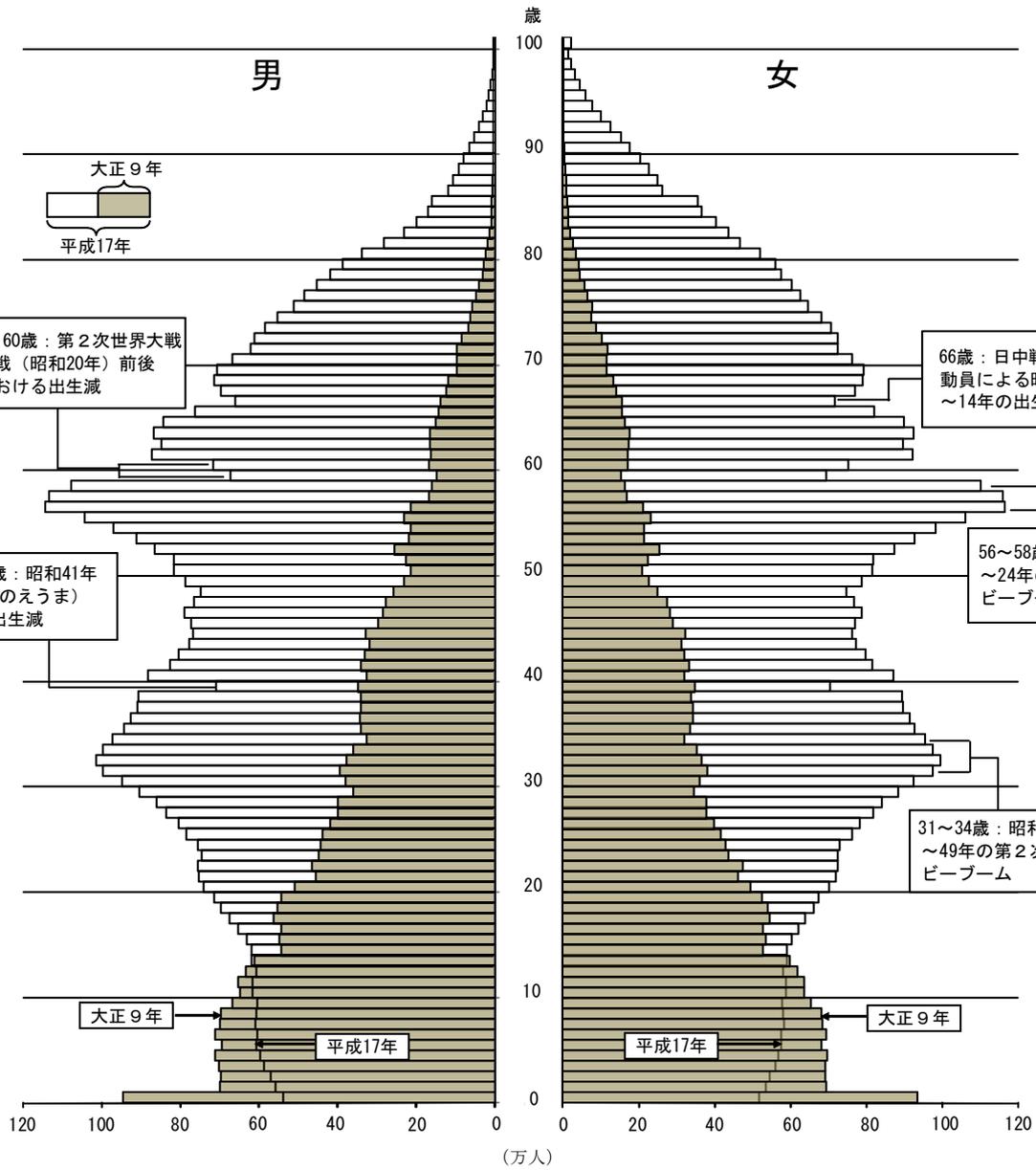
備 考

1. 本文及び図表中の数値は、表章単位未満で四捨五入している。なお、四捨五入は各々が表章単位未満を含んだ数値で行っているため、表中の値を四捨五入した計算値と本文中の値が一致しない場合がある。また、本文及び図表中の総数、割合及び増減率などについても、表中の値による計算値と本文及び図表中の値が一致しない場合がある。
2. 摘要表中の「－」は、該当数字がないもの、「0.0」、「0.00」は単位未満の数を示す。
3. 特に注記のない限り、全数集計結果を用いている。

Note

1. The figures are rounded to the unit.
2. The mark “－” denotes zero or figures not applicable. Entries of 「0.0」, 「0.00」 denote below unit.
3. The figures are based on the result of total unless otherwise noted.

我が国の人口ピラミッド（大正9年，平成17年）



第1章 全国の人口

1-1 我が国人口の推移

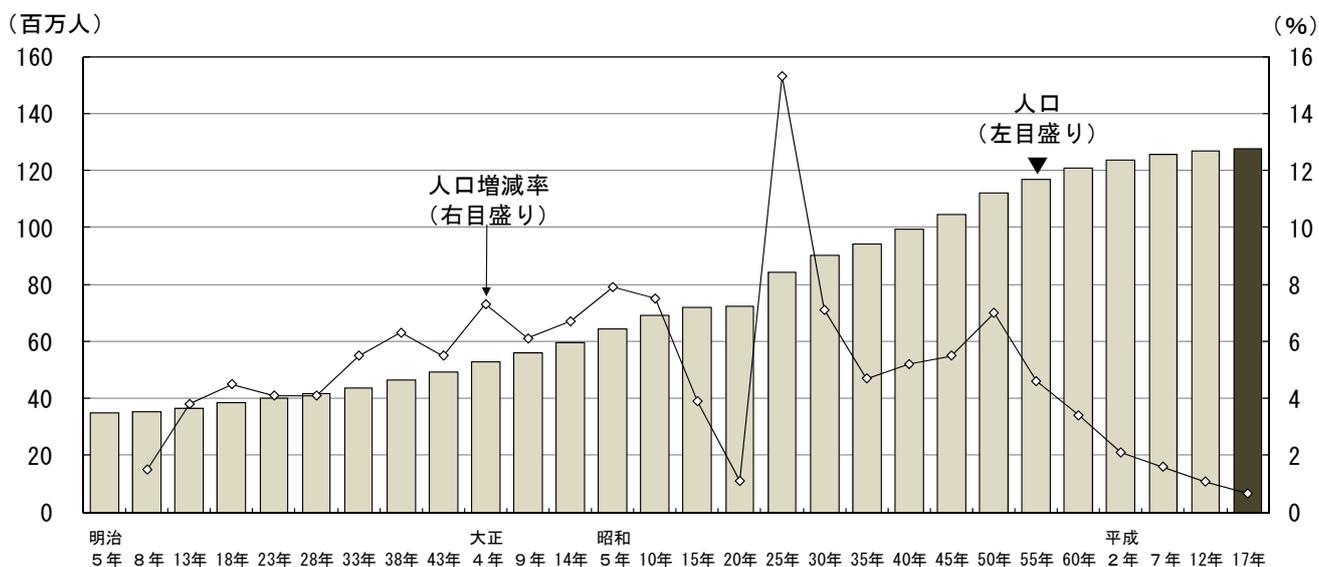
我が国の人口は1億2777万人、5年間の増加率は調査開始以来最も低い0.7%

平成17年国勢調査による平成17年(2005年)10月1日現在の我が国の総人口は1億2777万人であり、前回の国勢調査(平成12年)による人口(1億2693万人)に比べ、84万人、0.7%の増加となっている。

第1回の国勢調査が行われた大正9年(1920年)と比べると、この85年間に我が国の人口は2.3倍になっている。この間の人口の推移を増減率でみると、大正9年(1920年)から昭和10年(1935年)には6.7~7.9%であったが、その後の10年間は戦争による死亡や軍人・軍属等の海外流出とそれに伴う出生率の低下によって大幅に低下した。昭和20年(1945年)以降の推移をみると、20年(1945年)~25年(1950年)には海外からの引揚げ、復員による帰国、それに伴う第1次ベビーブームによる出生率の上昇によって15.3%と急激に上昇したが、その後は出生率が次第に低下し、35年(1960年)から45年(1970年)には5%前後の伸びとなった。昭和45年(1970年)~50年(1975年)は第1次ベビーブーム期に生まれた女性が出産力の最も高い年齢層に達して第2次ベビーブームとなり、人口増加率も7.0%と上昇したが、これ以降は、出生率が低下を続けているため、人口増加率も低下を続け、平成12年(2000年)~17年(2005年)には0.7%と調査開始以来、最低の人口増加率となっている。

(図1-1, 表1-1)

図1-1 人口及び人口増減率の推移—全国(明治5年~平成17年)



資料：大正4年以前は明治5年以降我国の人口(内閣統計局)，大正9年~平成17年は国勢調査又は人口調査結果による。

表 1-1 人口、人口増減及び人口密度の推移—全国（明治5年～平成17年）

年次	人口 ¹⁾ (千人)	5年間の人口増減		年平均 人口増減率 (%)	人口密度 (人/km ²)	大正9年を 100とした 指数
		実数 (千人)	率 (%)			
明治 5年 (1872)	34,806	-	-	-	91	62
8年 (1875)	35,316	4) 510	4) 1.5	0.49	93	63
13年 (1880)	36,649	1,333	3.8	0.74	96	65
18年 (1885)	38,313	1,664	4.5	0.89	100	68
23年 (1890)	39,902	1,589	4.1	0.82	105	71
28年 (1895)	41,557	1,655	4.1	0.82	109	74
33年 (1900)	43,847	2,290	5.5	1.08	115	78
38年 (1905)	46,620	2,773	6.3	1.23	122	83
43年 (1910)	49,184	2,564	5.5	1.08	129	88
大正 4年 (1915)	52,752	3,568	7.3	1.41	138	94
9年 (1920)	55,963	3,211	6.1	1.19	147	100
14年 (1925)	59,737	3,774	6.7	1.31	156	107
昭和 5年 (1930)	64,450	4,713	7.9	1.53	169	115
10年 (1935)	69,254	4,804	7.5	1.45	181	124
15年 (1940)	71,933	2,679	3.9	0.76	188	129
20年 (1945)	72,147	780	1.1	0.06	196	129
25年 (1950)	84,115	5) 11,052	5) 15.3	5) 3.12	226	150
30年 (1955)	90,077	5,962	7.1	1.38	242	161
35年 (1960)	94,302	4,225	4.7	0.92	253	169
40年 (1965)	99,209	4,908	5.2	1.02	267	177
45年 (1970)	104,665	5,456	5.5	1.08	281	187
50年 (1975)	111,940	7,274	7.0	1.35	300	200
55年 (1980)	117,060	5,121	4.6	0.90	314	209
60年 (1985)	121,049	3,989	3.4	0.67	325	216
平成 2年 (1990)	123,611	2,562	2.1	0.42	332	221
7年 (1995)	125,570	1,959	1.6	0.32	337	224
12年 (2000)	126,926	1,356	1.1	0.21	340	227
17年 (2005)	127,768	842	0.7	0.13	343	228

1) 大正4年以前は各年1月1日現在の推計人口（内閣統計局）

大正9年以降は10月1日現在、ただし、昭和20年は11月1日現在

2) 国勢調査による人口73114千人から、内地外の軍人、軍属等の推計数1181千人を差し引いた補正人口

3) 昭和20年人口調査による人口71998千人に、軍人及び外国人の推計数149千人を加えた補正人口。沖縄県を除く。

4) 3年間の人口増加

5) 沖縄県を除いて算出

資料：大正4年以前は明治5年以降我国の人口（内閣統計局）、大正9年～平成17年は国勢調査又は人口調査結果による。

死亡率を下回る出生率

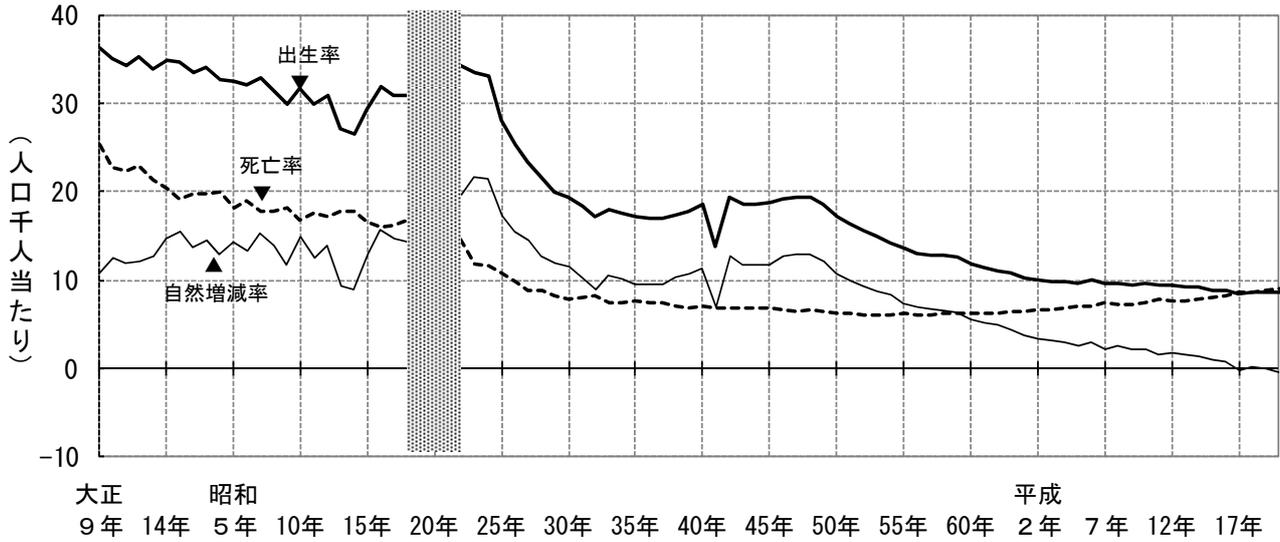
人口動態統計（厚生労働省）によって出生率と死亡率の推移をみると、昭和15年には人口1,000人当たり16.5であった死亡率はその後大幅に低下し、41年以降6台で推移していたが、高齢化の進展に伴い、平成7年は7.4、12年は7.7、17年は8.6となっている。

一方、出生率は昭和22年から24年までは第1次ベビーブームにより人口1,000人当たり33～34と昭和初期の水準まで上昇したが、20年代後半に急速に低下し、30年代から40年代前半にかけてはおおむね17～18で推移した。昭和40年代後半には第2次ベビーブームを迎え、19台に上昇したものの、その後は再び低下の傾向を示し、平成17年には8.4と明治32年の統計開始以来初めて死亡率を下回った。

なお、平成17年国勢調査後の平成18年から20年までの推移をみると、出生率は18年に8.7に上昇し、20年まで横ばいで推移しているものの、死亡率は上昇している。

（図1-2、表1-2）

図1-2 出生率、死亡率及び自然増減率の推移—全国（大正9年～平成20年）



注) 昭和19年～21年を除く。

資料：人口動態統計（厚生労働省）

表1-2 出生率、死亡率、自然増減率及び合計特殊出生率の推移—全国（大正9年～平成20年）

年次 ¹⁾	出生率 (人口千人当たり)	死亡率 (人口千人当たり)	自然増減率 (人口千人当たり)	合計特殊 出生率
大正 9年 (1920)	36.2	25.4	10.8	-
14年 (1925)	34.9	20.3	14.6	5.11
昭和 5年 (1930)	32.4	18.2	14.2	4.72
15年 (1940)	29.4	16.5	12.9	4.12
25年 (1950)	28.1	10.9	17.2	3.65
30年 (1955)	19.4	7.8	11.6	2.37
35年 (1960)	17.2	7.6	9.6	2.00
40年 (1965)	18.6	7.1	11.4	2.14
45年 (1970)	18.8	6.9	11.8	2.13
50年 (1975)	17.1	6.3	10.8	1.91
55年 (1980)	13.6	6.2	7.3	1.75
60年 (1985)	11.9	6.3	5.6	1.76
平成 2年 (1990)	10.0	6.7	3.3	1.54
7年 (1995)	9.6	7.4	2.1	1.42
12年 (2000)	9.5	7.7	1.8	1.36
13年 (2001)	9.3	7.7	1.6	1.33
14年 (2002)	9.2	7.8	1.4	1.32
15年 (2003)	8.9	8.0	0.9	1.29
16年 (2004)	8.8	8.2	0.7	1.29
17年 (2005)	8.4	8.6	-0.2	1.26
18年 (2006)	8.7	8.6	0.1	1.32
19年 (2007)	8.6	8.8	-0.1	1.34
20年 (2008)	8.7	9.1	-0.4	-

注) 昭和19年～21年を除く。

1) 昭和25年～45年は沖縄県を除く。

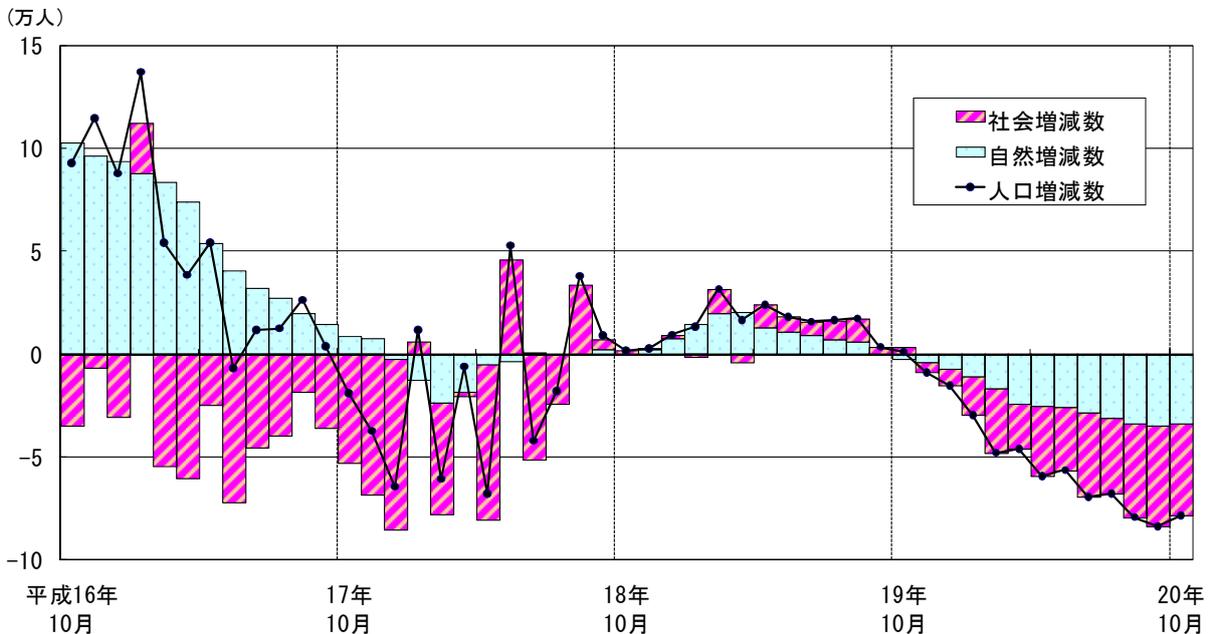
資料：人口動態統計（厚生労働省）

人口減少社会にある我が国

我が国の人口について、推計人口（総務省統計局）により、平成16年10月から20年10月までの年ベースの増減数（前年同月から前月までの12か月間の計）の推移をみると、17年5月から18年7月まで増加と減少を繰り返し、18年8月から19年10月まで5万人を下回る増加が続いていたが、19年11月以降、継続して減少となっており、特に20年以降は、減少幅が拡大傾向にある。これを自然増減（出生者数－死亡者数）と社会増減（入国者数－出国者数）に分けてみると、自然増減は19年10月以降、社会増減は平成19年11月以降、いずれも減少となっている。特に、人口の基調となる自然増減は漸減している。

このように、我が国は、平成20年ごろから本格的な人口減少社会となっているとみられる。 （図1-3）

図1-3 総人口の増減数（年ベース）の推移—全国（平成16年10月～20年10月）



注) 増減数は、前年同月から前月までの1年間の計
 総人口は直近の国勢調査人口を基に遡及改定しているため、総人口の増減数は自然増減数と社会増減数の計とは一致しない。
 資料：推計人口（総務省統計局）

1-2 世界の中の我が国の人口

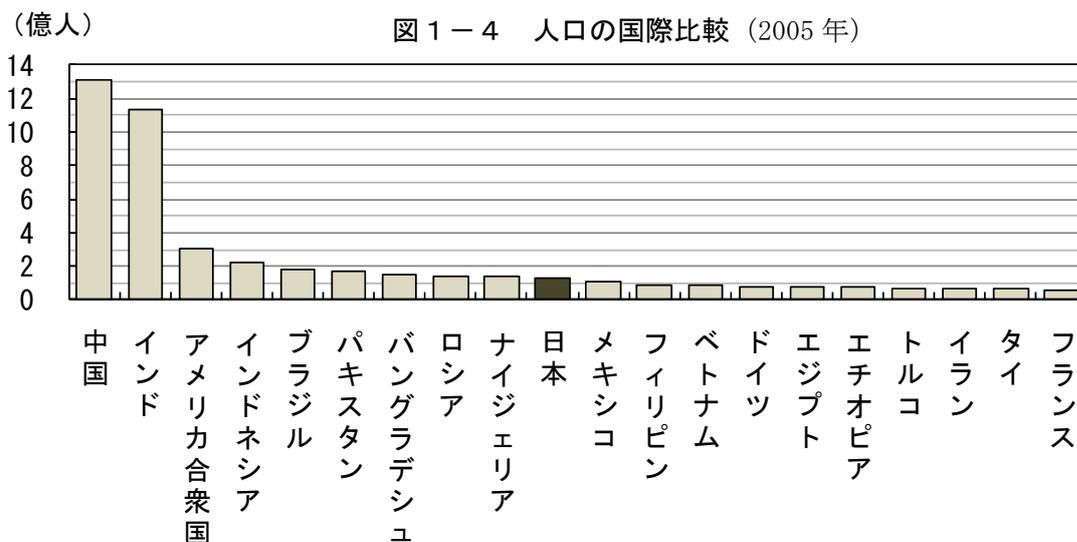
我が国の人口は世界人口の2.0%，5年前から0.1ポイント低下

国際連合の推計によると、平成17年（2005年）の年央における世界の人口は65.12億人であり、我が国はその2.0%を占めている。同推計による各国の人口をみると、中国が13.12億人と最も多く、次いでインド（11.31億人）となっており、10億人を超えるこの

2か国で世界人口の約4割を占めている。これに次いで、アメリカ合衆国（3.03億人）、インドネシア（2.19億人）、ブラジル（1.86億人）、パキスタン（1.66億人）、バングラデシュ（1.53億人）、ロシア（1.43億人）、ナイジェリア（1.41億人）の順となっており、我が国の人口はこれらの国に次いで10番目となっている。

なお、我が国を除くアジアやアフリカ諸国の人口増加率は、我が国よりも高い傾向にある。このため、世界各国の中で我が国の人口の占める順位は低下しつつあり、2000年には9番目であったが、2005年にはナイジェリアが我が国を上回ったことにより、10番目となった。

（図1-4、表1-3、表1-6）



資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計による。
日本は、国勢調査による。

表1-3 人口の国際比較（2000年・2005年）

順位	2005年			2000年		
	国名	人口 (千人)	世界人口に 占める割合 (%)	国名	人口 (千人)	世界人口に 占める割合 (%)
	世界	6,512,276	100.0	世界	6,115,367	100.0
1	中国	1,312,253	20.2	中国	1,266,954	20.7
2	インド	1,130,618	17.4	インド	1,042,590	17.0
3	アメリカ合衆国	302,741	4.6	アメリカ合衆国	287,842	4.7
4	インドネシア	219,210	3.4	インドネシア	205,280	3.4
5	ブラジル	186,075	2.9	ブラジル	174,174	2.8
6	パキスタン	165,816	2.5	パキスタン	148,132	2.4
7	バングラデシュ	153,122	2.4	ロシア	146,670	2.4
8	ロシア	143,170	2.2	バングラデシュ	140,767	2.3
9	ナイジェリア	140,879	2.2	日本	126,926	2.1
10	日本	127,768	2.0	ナイジェリア	124,842	2.0
11	メキシコ	105,330	1.6	メキシコ	99,531	1.6
12	フィリピン	85,496	1.3	ドイツ	82,075	1.3
13	ベトナム	84,074	1.3	ベトナム	78,663	1.3
14	ドイツ	82,409	1.3	フィリピン	77,689	1.3
15	エジプト	77,154	1.2	エジプト	70,174	1.1
16	エチオピア	74,661	1.1	イラン	66,903	1.1
17	トルコ	71,169	1.1	トルコ	66,460	1.1
18	イラン	70,765	1.1	エチオピア	65,515	1.1
19	タイ	65,946	1.0	タイ	62,347	1.0
20	フランス	61,013	0.9	フランス	59,128	1.0

資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計による。
日本は、国勢調査による。

我が国の人口密度は343人／km²、世界の人口密度の7.1倍

平成17年の我が国の人口密度は343人／km²で、国際連合の推計による世界の人口密度(48人／km²)の7.1倍となっている。同推計による各国の人口密度をみると、人口1000万人以上の国の中では、バングラデシュ(1,063人／km²)、韓国(478人／km²)、オランダ(393人／km²)、インド(344人／km²)に次いで5番目となっている。なお、人口1000万人以上の国の中で人口密度が最も低いのはカナダ及びオーストラリア(3人／km²)となっている。

人口がどの程度集まっているかを測る指標である「接近度」ⁱをみると、2005年における世界の人口の接近度は155m、我が国の人口の接近度は58mとなっている。なお、人口1000万人以上の国の中で人口密度が最も高いバングラデシュの接近度は33m、一方、人口密度が最も低いカナダ及びオーストラリアは620mとなっている。

(表1-4)

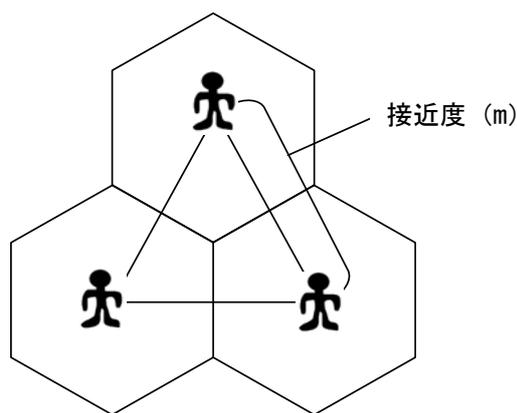


表1-4 人口密度及び接近度の国際比較
(2005年) - 人口1000万人以上

国名	人口密度 (人／km ²)	接近度 (m)
世界	48	155
バングラデシュ	1,063	33
韓国	478	49
オランダ	393	54
インド	344	58
日本	343	58
ベルギー	341	58
スリランカ	298	62
フィリピン	285	64
ベトナム	253	68
イギリス	248	68
ドイツ	231	71
パキスタン	208	75
イタリア	195	77
：	：	：
ナイジェリア	153	87
中国	137	92
：	：	：
インドネシア	115	100
：	：	：
フランス	111	102
：	：	：
メキシコ	54	146
：	：	：
アメリカ合衆国	31	193
：	：	：
ブラジル	22	229
：	：	：
ロシア	8	380
：	：	：
カナダ	3	620
オーストラリア	3	620

資料：United Nations, *World Population Prospects*
2008年版の中位推計による。日本は、国勢調査による。

$$\text{接近度(m)} \approx 1074.57 \div \sqrt{\text{人口密度(人／km}^2\text{)}}$$

ⁱ 接近度とは、人口が対象地域内において均等に分布するという仮定の下で、各個人間の距離がすべて等しくなるように分布した場合の隣の人との距離である。ここでは、地域内の人々が正六角形の格子の中心に分布したと仮定して、各個人間の距離を計算した。

1-3 世界の人口の推移

世界の人口は約65億人

国際連合の推計によると、1500年に約5億人であった世界の人口は、19世紀前半に10億人を上回った。その後、1930年に20億人、1960年に30億人、1975年に40億人と、次第に増加のテンポを速め、2000年には60億人を上回り、2005年には約65億人となっている。

また、年平均人口増減率でみると、19世紀には0.4～0.5%であったが、20世紀に入って急激に上昇し、1960年～1970年には2%台を記録した。その後、人口増加率は次第に低下して1%台となり、2000年～2005年には1.27%となっている。（表1-5）

表1-5 世界の人口の推移
(1500年～2005年)

年次	人口 (百万人)	年平均人口 増減率 (%)
1500年	500	—
1750	790	0.18
1800	980	0.43
1850	1,260	0.50
1900	1,650	0.54
1950	2,529	0.86
1960	3,023	1.80
1970	3,686	2.00
1980	4,438	1.87
1990	5,290	1.77
2000	6,115	1.46
2005	6,512	1.27

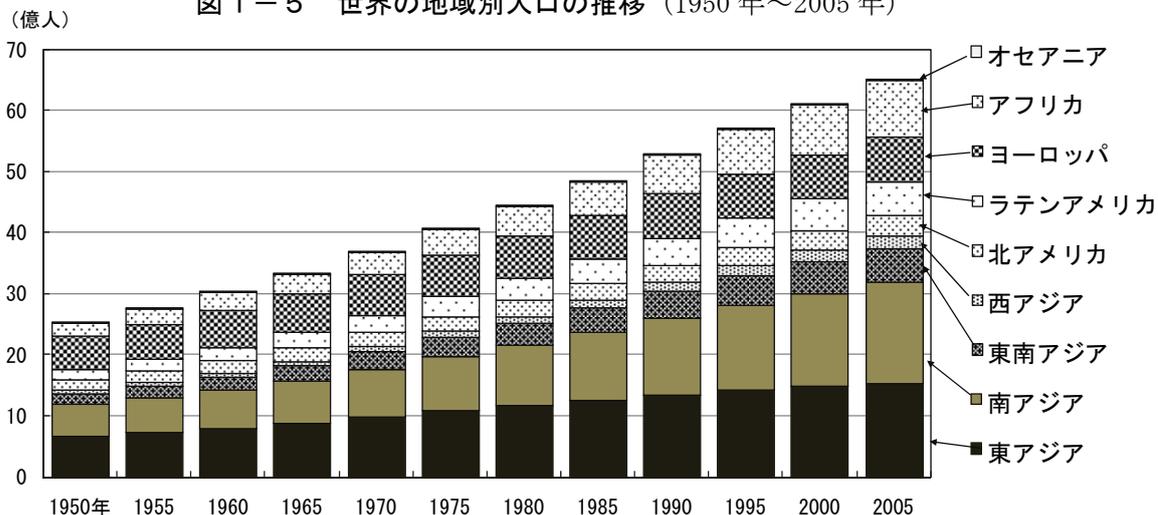
資料：1950年以降はUnited Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計、それ以前はUnited Nations, *The World at Six Billion*による。

南アジア及びアフリカが世界人口の増加に大きく寄与

1950年以降の世界の人口の推移を地域別にみると、1960年～1980年は、西アジア、アフリカ、ラテンアメリカ、東南アジア、南アジア、東アジアの6地域で、年平均増加率が2%を超えていた。その後はほとんどの地域で増加率が低下し、2000年～2005年の年平均増加率は、すべての地域で1980年～2000年の年平均増加率を下回ったが、アフリカ及び西アジアは引き続き2%台となっている。

また、人口増加数について寄与率をみると、東アジアは、年平均人口増加率の低下に伴い、1960年～1980年の26.87%から2000年～2005年は12.16%に低下した。これに対し、南アジア及びアフリカの寄与率は上昇を続けており、2000年～2005年は2地域で約60%となっている。（図1-5、表1-6）

図1-5 世界の地域別人口の推移 (1950年～2005年)



資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計による。

表 1-6 世界の地域別人口の推移 (1960年～2005年)

地 域	人口 (百万人)				人口増減数 (百万人)			年平均人口増減率 (%)			寄与率 (%)		
	1960年	1980年	2000年	2005年	1960年 ～1980年	1980年 ～2000年	2000年 ～2005年	1960年 ～1980年	1980年 ～2000年	2000年 ～2005年	1960年 ～1980年	1980年 ～2000年	2000年 ～2005年
世界	3,023	4,438	6,115	6,512	1,414	1,678	397	1.94	1.62	1.27	100.00	100.00	100.00
東アジア	779	1,159	1,472	1,521	380	313	48	2.01	1.20	0.65	26.87	18.66	12.16
南アジア	627	991	1,518	1,651	364	527	132	2.31	2.16	1.69	25.73	31.43	33.34
東南アジア	220	356	517	554	135	161	37	2.42	1.89	1.39	9.57	9.62	9.29
西アジア	67	116	190	211	49	74	21	2.78	2.49	2.09	3.48	4.40	5.23
北アメリカ	204	254	319	335	50	65	17	1.10	1.14	1.02	3.52	3.85	4.16
ラテンアメリカ	220	363	521	557	143	159	35	2.54	1.83	1.32	10.11	9.45	8.89
ヨーロッパ	604	693	727	729	89	33	3	0.69	0.24	0.08	6.27	1.99	0.72
アフリカ	285	482	819	921	197	337	102	2.66	2.69	2.37	13.94	20.10	25.60
オセアニア	16	23	31	34	7	8	2	1.86	1.54	1.49	0.50	0.49	0.60

資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計による。

$$\text{比較時におけるA地域の人口増減数の「寄与率」} = \frac{A_1 - A_0}{T_1 - T_0} \times 100 \quad (\%)$$

A₁ : 比較時におけるA地域の人口, A₀ : 基準時におけるA地域の人口,
T₁ : 比較時における世界人口, T₀ : 基準時における世界人口

- 東アジア : 日本, 中国, 韓国など
- 南アジア : インド, パキスタン, バングラデシュなど
- 東南アジア : インドネシア, マレーシア, フィリピン, タイ, ベトナムなど
- 西アジア : トルコ, イラク, サウジアラビア, カタールなど
- 北アメリカ : アメリカ合衆国, カナダなど
- ラテンアメリカ : ブラジル, メキシコ, アルゼンチンなど
- ヨーロッパ : ロシア, ドイツ, フランス, イギリスなど
- アフリカ : ナイジェリア, エチオピア, エジプト, 南アフリカ共和国など
- オセアニア : オーストラリア, ニュージーランドなど

我が国の人口増加率はドイツとほぼ同水準

諸外国の2000年～2005年の年平均人口増減率をみると、ウガンダ、コンゴ民主共和国、エチオピアなどのアフリカ諸国が2～3%と高い増加率となっている。このほか、フィリピン、インド、カナダ、アメリカ合衆国などが1%以上の増加率となっている。一方、ヨーロッパ諸国は1%以下となっており、ポーランド、ロシア、ウクライナでは減少となっている。

我が国の人口増加率 (0.13%) は、世界の中でも低い水準にあり、ドイツ (0.08%) とほぼ同水準となっている。(表 1-7)

表 1-7 年平均人口増減率の国際比較 (2000年～2005年)

国 名	年平均人口増減率 (%)	国 名	年平均人口増減率 (%)
ウガンダ	3.27	ニュージーランド	1.23
コンゴ民主共和国	3.05	メキシコ	1.14
エチオピア	2.65	カナダ	1.03
ナイジェリア	2.45	アメリカ合衆国	1.01
パキスタン	2.28	アルゼンチン	0.95
フィリピン	1.93	中国	0.71
エジプト	1.91	フランス	0.63
バングラデシュ	1.70	イタリア	0.53
インド	1.63	韓国	0.49
南アフリカ共和国	1.39	イギリス	0.46
トルコ	1.38	日本	0.13
ベトナム	1.34	ドイツ	0.08
ブラジル	1.33	ポーランド	-0.12
インドネシア	1.32	ロシア	-0.48
オーストラリア	1.25	ウクライナ	-0.80

資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計による。
日本は、国勢調査による。

1-4 将来推計人口

2050年の世界の人口は92億人弱

国際連合の推計によると、2005年に約65億人であった世界の人口は、2015年には70億人を超え、2030年には約83億人、2050年には92億人弱になると推計されている。人口増減率でみると、2010年から2020年にかけて2けたの増加の後、次第に低下していくと推計されている。

(表1-8)

表1-8 将来推計人口の国際比較 (2005年～2050年)

国名	人 口 (千人)						人 口 増 減 率 (%)					
	2005年	2010年	2015年	2020年	2030年	2040年	2050年	2005年 ～2015年	2010年 ～2020年	2020年 ～2030年	2030年 ～2040年	2040年 ～2050年
世界	6,512,276	6,908,688	7,302,186	7,674,833	8,308,895	8,801,196	9,149,984	12.1	11.1	8.3	5.9	4.0
アジア												
中国	1,312,253	1,354,146	1,395,998	1,431,155	1,462,468	1,455,055	1,417,045	6.4	5.7	2.2	-0.5	-2.6
インド	1,130,618	1,214,464	1,294,192	1,367,225	1,484,598	1,564,763	1,613,800	14.5	12.6	8.6	5.4	3.1
インドネシア	219,210	232,517	244,191	254,218	271,485	283,503	288,110	11.4	9.3	6.8	4.4	1.6
パキスタン	165,816	184,753	205,504	226,187	265,690	302,801	335,195	23.9	22.4	17.5	14.0	10.7
バングラデシュ	153,122	164,425	175,217	185,552	203,214	215,339	222,495	14.4	12.8	9.5	6.0	3.3
日本	127,768	127,176	125,430	122,735	115,224	105,695	95,152	-1.8	-3.5	-6.1	-8.3	-10.0
ベトナム	84,074	89,029	93,647	98,011	105,447	109,986	111,666	11.4	10.1	7.6	4.3	1.5
フィリピン	85,496	93,617	101,734	109,683	124,384	136,754	146,156	19.0	17.2	13.4	9.9	6.9
トルコ	71,169	75,705	79,966	83,873	90,375	94,939	97,389	12.4	10.8	7.8	5.1	2.6
韓国	47,566	48,501	49,153	49,475	49,146	47,296	44,077	3.3	2.0	-0.7	-3.8	-6.8
北アメリカ												
アメリカ合衆国	302,741	317,641	332,334	346,153	369,981	388,907	403,932	9.8	9.0	6.9	5.1	3.9
カナダ	32,307	33,890	35,493	37,101	40,096	42,460	44,414	9.9	9.5	8.1	5.9	4.6
ラテンアメリカ												
ブラジル	186,075	195,423	202,866	209,051	217,146	220,141	218,512	9.0	7.0	3.9	1.4	-0.7
メキシコ	105,330	110,645	115,528	119,682	126,457	129,879	128,964	11.0	9.3	6.3	3.2	0.0
アルゼンチン	38,732	40,666	42,548	44,304	47,255	49,417	50,943	9.9	8.9	6.7	4.6	3.1
ヨーロッパ												
ロシア	143,170	140,367	137,983	135,406	128,864	122,148	116,097	-3.6	-3.5	-4.8	-5.2	-5.0
ドイツ	82,409	82,057	81,346	80,422	77,854	74,435	70,504	-1.3	-2.0	-3.2	-4.4	-5.3
フランス	61,013	62,637	63,900	64,931	66,474	67,473	67,668	4.7	3.7	2.4	1.5	0.3
イギリス	60,261	61,899	63,528	65,090	67,956	70,235	72,365	5.4	5.2	4.4	3.4	3.0
イタリア	58,645	60,098	60,604	60,408	59,549	58,523	57,066	3.3	0.5	-1.4	-1.7	-2.5
ウクライナ	46,936	45,433	44,165	42,945	40,188	37,429	35,026	-5.9	-5.5	-6.4	-6.9	-6.4
ポーランド	38,198	38,038	37,788	37,497	36,187	34,204	32,013	-1.1	-1.4	-3.5	-5.5	-6.4
アフリカ												
ナイジェリア	140,879	158,259	175,928	193,252	226,651	259,384	289,083	24.9	22.1	17.3	14.4	11.4
エチオピア	74,661	84,976	96,237	107,964	131,561	153,965	173,811	28.9	27.1	21.9	17.0	12.9
エジプト	77,154	84,474	91,778	98,638	110,907	121,619	129,533	19.0	16.8	12.4	9.7	6.5
コンゴ民主共和国	59,077	67,827	77,419	87,640	108,594	128,907	147,512	31.0	29.2	23.9	18.7	14.4
南アフリカ共和国	48,073	50,492	51,684	52,671	54,726	56,041	56,802	7.5	4.3	3.9	2.4	1.4
ウガンダ	28,699	33,796	39,710	46,319	60,819	76,174	91,271	38.4	37.1	31.3	25.2	19.8
オセアニア												
オーストラリア	20,395	21,512	22,607	23,675	25,656	27,303	28,724	10.8	10.1	8.4	6.4	5.2
ニュージーランド	4,111	4,303	4,492	4,669	4,972	5,190	5,349	9.3	8.5	6.5	4.4	3.1

資料：United Nations, *World Population Prospects*, 2008年版の中位推計による。

日本は、2005年は国勢調査、2010年～2050年は日本の将来推計人口（平成18年12月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）の中位推計による。

我が国の総人口は平成62（2050）年には9515万人になると推計

日本の将来推計人口（平成18年12月推計）（国立社会保障・人口問題研究所）によると、我が国の総人口は、平成18（2006）年以降長期の人口減少過程に入ると推計されている。42（2030）年の1億1522万人を経て、58（2046）年には1億人を割って9938万人となり、62（2050）年には9515万人と17（2005）年の4分の3程度になると推計されている。

（表1-8）

我が国と同様に人口の減少が推計されるヨーロッパ諸国

諸外国の将来推計人口をみると、人口が減少する国はヨーロッパ地域に多く、それ以外の地域のほとんどの国では人口が増加すると推計されている。

ヨーロッパ諸国の状況を見ると、例えばウクライナでは、2005年の人口は4694万人であるが、2050年には25.4%減の3503万人になると推計されている。このほか、ロシアでは1億4317万人から1億1610万人と18.9%減、ポーランドでは3820万人から3201万人と16.2%減、ドイツでは8241万人から7050万人と14.4%減などと人口が減少すると推計されている。また、我が国と同様に、減少幅はおおむね徐々に拡大していくものと推計されている。

一方、ヨーロッパ以外の国の状況を見ると、例えばナイジェリアでは2005年の人口は1億4088万人であるが、2050年には105.2%増の2億8908万人になると推計されている。このほか、インドでは11億3062万人から16億1380万人と42.7%増、アメリカ合衆国では3億274万人から4億393万人と33.4%増などと人口が増加すると推計されているが、これらの地域でも人口増加率は徐々に低下していくものと推計されている。（表1-8）